



五上『すいせんしょう「町じまん」』（61ページ）



首里城しゅりじょうについて

御嶽（ウタキ）



神様が宿る岩や神木があり、人々が集落のはんえいやほうさくをいのる場所。

御庭（ウナー）



首里城正殿せいでんの前に広がる中庭広場で、琉球王国りゅうきゅうにおいてぎしきを行う場所として重要な役割わりをになっていた。

